

寄贈図書リスト

- ポピュラーサイエンス「宇宙」, 野本陽代, 丸善, 読み物, 新書判, 222 p, 700 円
ボルツマン先生黄金郷を旅す, パリティ編集部, 丸善, 読み物, B6判, 196 p, 1339 円
地球を狙う危険な天体, 小島卓雄, 裳華房, 読み物, B6判, 173 p, 1339 円
科学とりもの帖, 森本雅樹, 丸善, 読み物, B6判, 283 p, 1800 円

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1)所属部門・所属講座, (2)勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1)着任時期, (2)任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1)提出先, (2)問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

北海道大学理学部物理学科教員

1. 教授 1名
2. (1)物理学専攻 非線形物理学講座
3. 宇宙物理学
5. (1)1995年4月1日(土)
7. 自筆履歴書, 業績リスト(レフェリーのある論文と, それ以外の総説等にわかる), 主要論文別刷5篇程度, レビュー等の別刷, 着任した場合の研究計画書, 推薦書(複数可)または意見をきける方2名の氏名と連絡先
8. 1994年12月31日(土)
9. (1)〒060 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学理学部物理学専攻学科長 石川健三
(2)同上
電話 011-716-2111 内線 2688
011-706-2688 (直通)
Fax 011-746-5444
Bitnet ISHIKAWA@JPNYITP
10. 応募書類は表に「宇宙物理学教授応募書類在中」と朱書きし, 書留で送付のこと。

宇宙科学研究所教官

この度, 下記の要領により教官の公募を行いますので, 広く適任者の推薦, 応募を求めます。

1. 助教授1名
2. (1)宇宙圏研究系 高エネルギー天体物理学第二部門
3. 高エネルギー天体物理学

X線, ガンマ線等の高エネルギー放射線による天体の観測的研究, 飛翔体搭載機器の開発研究, 科学衛星計画の実行・推進。同研究系の各部門と協力すると共に, 大学共同利用機関としての責務を理解し, 当該分野の科学衛星計画その他共同利用プログラムを担当して, その遂行に責任ある役割を果たす方を希望します。なお, 当該部門には教授井上一, 助手伊藤真之, 助手堂谷忠靖が在職しております。

5. (1)決定後, なるべく早い着任を希望
7. (1)略歴 (2)研究歴 (3)論文リストおよび主要論文別刷 (4)研究計画 (自薦の場合のみ) (5)他薦の場合: 推薦書2通。自薦の場合: 本人について意見を述べられる者2名の氏名, 連絡先。
8. 平成6年12月20日(火)必着
9. (1)〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1
宇宙科学研究所管理部庶務課人事係
電話 (代表) 0427-51-3911
(2)問い合わせおよび資料の請求は下記に願います。
宇宙圏研究系研究主幹 榎野 文命 内線2621
11. 選考は, 宇宙科学研究所運営協議員会に於いて行います。応募者に適任者がいない場合は, 決定を保留することがあります。封筒の表に「助教授応募(推薦)書類在中」と朱で明記してください。

宇宙科学研究所教官

このたび, 下記の要領により教官公募を行いますので, 広く適任者の推薦, 応募を求めます。

1. 助手 1名
2. (1)宇宙圏研究系 赤外線天体物理学部門
(2)神奈川県相模原市由野台 宇宙科学研究所
4. 主としてスペースからの赤外線観測によって, 星, 銀河, 宇宙の誕生と進化過程の研究を行う。現在, 当該部門では気球を利用した, 遠赤外線分光観測による銀河系内の星の形成環境の研究, 軌道赤外線望遠鏡による宇宙背景放射, 銀河赤外線などの観測を行うIRTS計画等を進めている。また, 近い将来, 衛星を使った本格的なスペース観測を行う準備を進めている。現在の専門にはとらわれないが, これらの研究に積極的に参加し, 観測的赤外線天文学の研究に意欲的に取り組む方で大学共同利用機関である本研究所の職務を理解し, 共同利用諸計画の遂行に積極的な役割を果たしていただける方を希望する。尚, 関連する分野の研究者として現在, 当該部門に奥田治之教授, 村上 浩助教授, 中川貴雄助手, また共通基礎研究系宇宙計測システム部門には芝井 広助教授が在籍している。
5. (1)決定後できるだけ早い着任
7. (1)略歴 (2)研究歴 (3)論文リスト及び主要論文の別

刷り (4)研究計画書 (自薦の場合) (5)他薦の場合、推薦書2通、自薦の場合、本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先

8. 1994年12月26日(月)必着

9. (1)〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1

宇宙科学研究所 庶務課人事係

電話(代表)0427-51-3911

(2)宇宙圏研究系赤外線天体物理学部門 奥田治之内線2601

FAX. 0427-59-4253

11. 封筒の表に「助手応募(推薦)書類在中」と朱で明記して下さい。

選考は、宇宙科学研究所運営協議委員会において行います。

応募者に適格者がいない場合には決定を保留することがあります。

宇宙科学研究所教官

このたび、下記の要領により教官の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 助手 1名

2. (1)宇宙圏研究系高エネルギー天体物理学第一部門

3. 飛翔体を用いた、高エネルギー放射線(X線、ガンマ線等)の観測による天体物理学の研究及び測定技術の開発。

同研究系には、現在、高エネルギー天体物理学第一、第二、第三各部門及び赤外線天体物理学部門があります。高エネルギー天体物理学第二、第三部門と緊密に協力しつつ研究を行うとともに、大学共同利用機関としての本研究所の任務を十分理解し、当該分野の科学衛星計画その他共同利用プログラムの遂行に積極的な役割を果たす方を希望します。

なお、当該部門には現在、小川原嘉明教授、満田和久助教授、石田 学助手が在職しています。

5. 決定後できるだけ早い着任を希望します。

7. (1)略歴 (2)研究歴 (3)論文リスト及び主要論文別刷り (4)研究計画書(自薦の場合のみ) (5)他薦の場合は推薦書2通、自薦の場合は本人について意見を述べられる方2名の氏名及び連絡先

8. 平成7年1月6日(金)必着

9. (1)宇宙科学研究所管理部庶務課人事係

〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1

電話(代表)0427(51)3911

(2)問い合わせ及び資料の請求については下記に願います。

宇宙圏研究系研究主幹 榎野文命(内線2621)

11. 選考は宇宙科学研究所運営協議委員会において行いま

す。

応募者に適任者がいない場合は、決定を保留する場合があります。

封筒の表に「助手応募(推薦)書類在中」と朱で明記してください。

神戸大学発達科学部教官

1. 助教授または講師1名

2. (1)人間環境科学科 自然環境論講座

(2)神戸市灘区鶴甲3-11

3. 広い意味の宇宙環境物理学。例えば、宇宙論、宇宙線、あるいは宇宙環境科学の関連分野における理論あるいは実験。

4. (1)「宇宙環境物理学I」、「宇宙環境物理学II」などの講義および実験

(2)全学共通授業科目「物理学」の講義および実験

(3)理学を基礎とした新しい自然環境科学の創造的研究

5. (1)1995年4月以降で、決定次第できるだけ早い時期(講義開始は1995年10月)

6. 博士の学位を取得していることが望ましい。年齢、性別はとくに問わない。(停年は63歳)

7. (1)履歴書(健康に関する所見を含む)

(2)業績リスト

(3)主要論文(5編以内)の別刷

(4)これまでの研究経歴(A4版2ページ以内)

(5)着任後の研究構想および教育に関する抱負(A4版3ページ程度)

(6)本人に関して意見を求めうる方2名の氏名とその連絡先

(7)可能ならば推薦書

8. 1994年12月26日必着

9. (1)〒657 神戸市灘区鶴甲3-11

神戸大学発達科学部学部長

(2)同学部人間環境科学科 自然環境論講座 森井俊行
電話:(078)803-0917

ファックス:(078)803-0261

電子メール:morii@kobe-u.ac.jp

10. 封筒の表に「自然環境教官応募書類」と朱書き、書留にて郵送のこと。

11. この講座は、1992年10月に、発達科学部の発足とともに出来た新しい講座です。従来の物理学、化学、生物学、地学を足場にする18人の教官からなる大講座で、総合理的な見地から環境科学の基礎的な部分にアプローチすることを目指しています。今回は、とくに宇宙環境物理学という新しい分野を開拓する意欲にあふれる熱意のある方を募集します。また、講座内の

他分野の研究者との交流にも意欲のある方を望みません。

研究会・集会案内

第4回「一般相対論と重力」研究会を、京都大学基礎物理学研究所にて1994年11月28日(月)から12月1日(木)までの4日間の日程で行うことになりました。現在、重力に関する問題は極めて多岐にわたるものとなっておりますが、細分化が進んだ中において様々な分野の研究者が広く交流できると言う点にこの研究会の一つの意義を見いだすことができます。したがって、今回の研究会も基本的なありかたは前回のそれと同じく、重力に関する問題を一般相対論はもちろんですが、それ以外の様々な古典重力理論から量子重力理論まで、また数理論理的な問題から、実験・観測的な問題まで幅広く取り上げたいと考えております。皆様のふるってのご参加をお待ちしております。

重点領域「重力波天文学」計画研究

総合研究A「一般相対論と重力波の理論的研究」共催世話人：石原秀樹(京大総合)、江理口良治(東大教養)、小嶋康史(都立大理)、柴田大(阪大理)、中尾憲一(京大理)、中村卓史(京大基研)、二間瀬敏史(弘前大理)、前田恵一(早大理工)

連絡先：〒606-01 京都市左京区北白川追分町

京都大学理学部 物理学第二教室

中尾憲一

Tel: 075-753-3850 (direct in)

Fax: 075-753-3886

E-mail: nakao@nws.841.scphys.kyoto-u.ac.jp

会務案内

会員名簿を作ります

会員名簿(1994年版)を12月現在で作製の予定です。

旧名簿(1992年11月30日現在)に訂正を加えますので、変更届をしたかどうか自信のない方は重複しても構いませんので、是非お届け下さい。

特に大学、研究所等でダイヤル・インになったところは、届がない場合は旧版のままになりますのでご注意ください。

連絡方法は記録の残る方法(はがき、手紙、FAX)をお願いします。

早川幸男基金による援助希望者の募集

日本天文学会 早川幸男基金(若手海外学術研究援助基金)内規に基づき、海外学術研究に対して援助を希望する者を募集(1994年度4期分)致します。

[要項]

1. 援助金総額 年間約100万円
2. 援助件数 年間数件程度
3. 募集対象機関 1995年1月1日～3月31日の間に日本を出発するもの。また前回の応募時に間に合わずすでに渡航してしまった場合はその事情説明をつけて応募して下さい。
4. 応募必要書類(A4紙に統一すること)
 - (1) 応募用カバーシート(本誌3月号の応募用紙をA4に拡大コピーして使用する)
 - (2) 論文リストおよび関連研究論文の写し(一編)
 - (3) 観測については、観測割当通知および観測提案の写しかそれに準ずるもの
 - (4) 国際共同研究については、渡航先の招聘状および研究計画の概要
 - (5) 研究集会参加については、当該研究会開催の主旨を説明する資料、プログラム、および応募者の寄与(口頭発表等)を証明するもの
 - (6) 大学院生の場合、研究指導者の意見書
 - (7) 航空運賃の見積書
5. 応募締切 1994年12月10日
6. 決定時期 1994年12月中旬
7. 応募書類送付先
〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内

日本天文学会 早川基金募集係

*早川基金内規(天文月報第85巻第12号参照)による援助対象資格は「日本天文学会会員で、原則として35歳以下の天文学研究者であって、この基金以外の海外渡航費(滞在費を除く)の援助を受けない者。」です。今回は、3月の10日締め切りで募集を行う予定です。応募希望者は書類等の準備をしてください。

早川基金応募カバーシート

(本頁を A 4 に拡大コピー・記入して、応募用紙の最初に添付して下さい)

氏名	(会員番号：)		生年月日	19 年 月 日(歳)
所属		身分	大学院(修士・博士)課程 年生	
援助希望の内容	(観測・国際共同研究・国際研究集会) その他 []		研究生・学振 (PD・DC)	
渡航期日	年 月 日～ 年 月 日		(常勤・非常勤)職員 [職名：] その他 []	
渡航期間：	渡航場所	渡航費見積金額： 円		
研究略歴				
渡航歴および旅費の出所：				
渡航の主旨：				
国際研究集会についての寄与： 1. 口頭発表, 2. ポスター, 3. その他 []				